

政策目標	にぎわいと活力にあふれるまち	施策目標	個性とにぎわいあるまちづくり	主要施策	文化資源の保存・継承・活用	評価部局	教育委員会 生涯学習部	関連部局	
施策コード	3131	施策名	文化財の保存と情報発信						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	環境を整備する。 ・史跡や文化財の良好な保存管理や情報の収集・発信を充実し、市民が文化財に親しめる環境を整備する。	施策の方向性	成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
							目標	実績	目標	実績	目標	実績
	平成28年度 目指すべき姿		重点化	① 文化財と博物館情報のアクセス数(アクセス数)	↑	ポータルサイト「いたみん」内の文化財「生涯学習提供システム」アクセス数＋社会教育課HPアクセス数＋博物館HPアクセス数の合計	目標 101,117	64,400	64,500	64,600	64,700	64,800
	・発掘資料や博物館資料など、伊丹の歴史文化の情報発信を充実。 ・地域と連携した調査、研究事業を推進し、研究紀要「地域研究いたみ」等で発表。		重点化	② 博物館利用者数(人)	↑	入館者、受講者、レファレンスなどを含む	目標 44,856	45,000	45,500	46,000	46,500	47,000
				③ 歴史ロマン体験学習への参加者数(人)	↑	歴史ロマン体験学習への参加者数	目標 217	240	240	240	240	240

手 段	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28
	313101	博物館史料集刊行事業	将来の『新・伊丹市史』編纂に役立てるとともに、市民の郷土学習に活用する。	伊丹市資料修史等専門委員会を中心に行われている調査研究の成果をまとめ「史料集」として継続的に刊行する。	本年度は『伊丹鉄道史料集』(仮称)刊行を行う。	10	14,374	16,622	史料集刊行数(点数)	=	伊丹市資料修史等専門委員会を中心に行われている調査研究の成果を計画的に史料集にまとめることで、将来の『新・伊丹市史』編纂に備える。※24年以降は隔年(26・28年)で新刊1点を刊行。	計画	0	1
	313102	文化財管理事業	国・県・市指定文化財を適切に保存・管理して後世に継承するとともに、積極的に公開・活用を行う。	・国指定史跡「有岡城跡」・「伊丹廃寺跡」、県指定史跡「御願塚古墳」の除草・剪定・清掃業務及び維持管理業務の実施。 ・指定文化財の説明板の設置・修理。 ・その他文化財の管理業務。	・史跡を含む指定文化財等の適切な保存管理の継続 ・指定文化財の説明板の修理	10	8,523	5,481	文化財パトロール回数	=	職員が、市内文化財のパトロールを行い、適切な維持・管理に努める。(月1回)	計画	12	12
	313103	文化財発掘調査事業	埋蔵文化財を適切に保護し、後世へ継承し、市民の郷土への誇りと愛着心を育む。	・文化財保護法に基づく事務手続 ・開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 ・埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	・開発事業に伴う適切な埋蔵文化財発掘調査の実施 ・調査出土品等の整理及び調査報告書の刊行	10	17,146	17,319	本発掘調査実施済率	=	開発によって破壊される埋蔵文化財について発掘調査(記録保存)を行う。	計画	100	100
	313104	伊丹廃寺跡史跡等買上げ事業	国指定史跡「伊丹廃寺跡」を適切に保護し、後世に継承する。	史跡指定地の買上げによる公有化を図り、史跡整備を進める。	平成28年度は実施予定なし	-	-	-			評価対象外	計画	-	-

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27		H28
313105	旧村史料調査事業&「旧村シリーズ」展示	旧村が存在した地域の方々からその地域にまつわる話を伺い、史跡を調査し、地域に残る史料を調べることで、地域の歴史を明らかにするとともに、後世に伝えてゆく。	地域の昔話の聞き取り、神社・寺院・墓地・水路などの現地調査、地域に残る古い写真・古文書・民具など歴史・民俗史料の調査を行い、毎年1冊刊行する研究紀要『地域研究いたみ』誌上にて順次報告し、その後、年1回開催する「旧村シリーズ」展示にて一般に公開する。	旧村1ヶ村の史料調査を実施。約40日間のテーマ展を開催する。	10	218	218	調査・展示件数(件)	=	調査箇所数と、テーマ展開催数及び研究紀要刊行数	計画	3	3	創注
					07									
313106	口酒井遺跡用地活用事業	・埋蔵文化財を適切に保存し、公開活用し、広く市民に周知する。 ・口酒井遺跡の重要性を広くアピールする。	・埋蔵文化財の保存、管理、活用拠点となる施設を開所する。 ・口酒井遺跡の用地について、活用方針を検討する。	・口酒井整理事務所の神津児童センターへの移転 ・口酒井倉庫の移転 ・口酒井整理事務所と倉庫の撤去 ・公園用地としての活用策の検討	10	-	6,900	-	-	-	計画	-	-	新規
					07									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	40,261	46,540